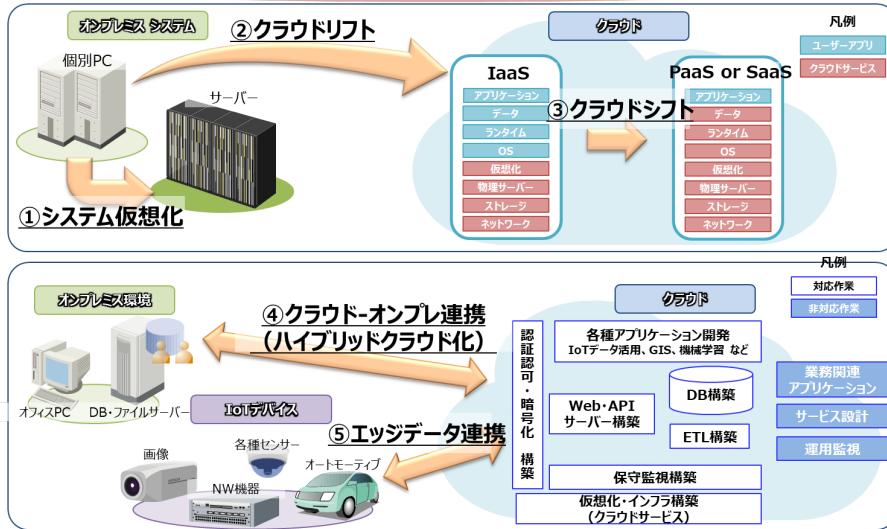


クラウドエンジニアリング サービスのご紹介

HITACHI
Inspire the Next

各分野の技術を用いたクラウドエンジニアリングサービス

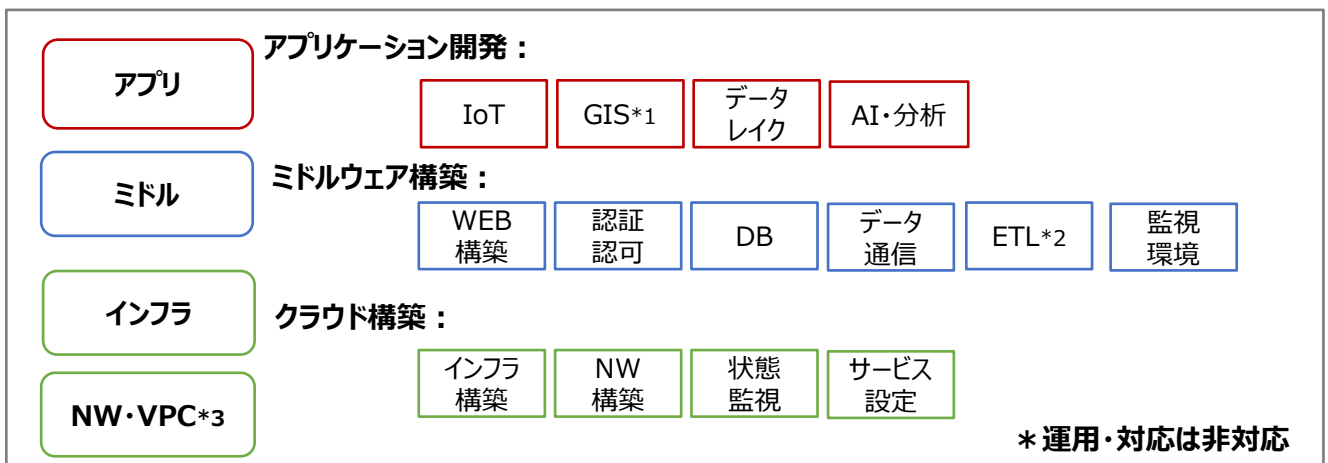
下記技術+プロジェクトマネジメントを合せて、クラウドエンジニアリングサービスをご提供します。



クラウド構築、リフト・シフトの各レイヤーに対応

クラウド構築に必要なインフラ～アプリケーション開発について、ご依頼に応じて試作、設計、開発を実施。各レイヤーの提供技術の一例を以下に示します。(詳細な提供技術は裏面参照)

対応クラウド : AWS、Azure、その他パブリッククラウド



*1 GIS : Geographic Information System(地理情報システム)

*2 ETL : Extract (抽出)・Transform(変換・加工)・Load(格納)の一連のプロセス

*3 VPC : Virtual Private Cloud(仮想プライベートクラウド)

提供技術と資格

クラウド関連の各種資格を備えた経験豊富な技術者がお客さまのご要望にお応えします。
主要な技術、資格のみを記載しています。下表に無い技術についてもお問い合わせください。

◆主要な技術一覧

項	技術分野	OSS	AWS	Azure
1	DB	MariaDB, MySQL, Cassandra, PostgreSQL, influxDB, neo4j	DynamoDB	SQL Server
2	GIS	OpenStreetMap, PostGIS	-	-
3	IoT	MQTT	IoTCore	-
4	認証認可	Keycloak	ACM, cognito	-
5	Web	Grafana, FastAPI, Kong, Node.js, nginx, Django	API Gateway, Amplify, CloudFront	Web Apps
6	ETL	Elasticsearch, Rbbitmq, Kibana, NodeRed	-	-
7	機械学習	TensorFlow, Pytorch, Jubatus, YOLO	sageMaker	-
8	監視	Zabbix, Prometheus, net-snmp	Cloudwatch	Backup
9	クラウド構築	Corosync, Libreswan, GPS, Pacemaker, zookeeper	EC2, Lambda, S3, ELB, CloudFormation	Blob Storage
10	仮想化	Docker, Kubernetes	-	-
11	開発	C, C++, Jenkins, Python, Ruby, SikuliX, Swagger, NodeRed	stepfunction	-

◆保有資格一覧

クラウド	レベル	資格名	保有人数
AWS	初級	AWS Certified Cloud Practitioner	33
	中級	AWS Certified Solutions Architect - Associate	14
	中級	AWS Certified Developer - Associate	11
	上級	AWS Certified Solutions Architect - Professional	3
	上級	AWS Certified Data Analytics - Specialty	1
Azure	上級	AWS Certified Security - Specialty	1
	初級	AZ-900 Azure Fundamentals	4
	初級	AI-900 Azure AI Fundamentals	1
	中級	AZ-104 Azure Administrator Associate	5
	上級	AZ-305 Azure Solutions Architect Expert	1

※ 上記資格保有数は、2022年10月末時点の状況
※ セキュリティ、DevOpsに関する資格取得者の拡充中

Amazon Web Services, AWS, [およびかかる資料で使用されるその他の AWS 商標] は、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

Azure, [およびかかる資料で使用されるその他の Azure 商標] は、マイクロソフト グループ企業の商標です。

重点取り組み

クラウドを用いたシステムの特長を下記のように考え、当社では主に3つに着目した取り組みを行っています。

異なる環境(各クラウド・オンプレ)の特性やサービスを連携したシステムの開発・構築の必要性

NWで連携したシステムの構築

NWを介したシステム接続にセキュリティは必須

認証認可

障害要因の切り分けが重要

クラウドリソース監視

クラウドサービス、サーバーレスを活用した開発

サーバーレス処理を含めた稼動監視・ログ収集が必要

異なるクラウドやオンプレの柔軟な知見と対応が必要

マルチ・ハイブリッド クラウド

“ゼロトラストのアクセス制御”の対応のため、下記対応のため、監視プラットフォームを当社内に構築
認証認可のコンテナ化・マイクロサービス化
技術の提供に向けたプラットフォームを当社内に構築

異なる環境やさまざまなサービスの活用
・主にAWS、Azureの実績拡充
・IoTエッジ連携の社内実証

**クラウド構築・開発に関連した疑問、お困りごとがあれば、気軽にご相談ください。
当社のエンジニアが貴社のニーズをお聞きして、課題を解決します。**

※記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です ※ちなみに記載の仕様、外観は、製品の改良などのため予告なく変更することがあります
※印刷物につき、実際の製品・画像の色調と異なる場合があります
※本製品の開発・製造は、原則として日本国内での使用を想定して実施しています本製品を輸出する際は、輸出者の責任において、輸出関連法令などを遵守し、必要な手続きを行ってください
海外の法令および規則への適合については当社はなんらの保証を行うものではありません。ご不明な場合は、販売店へお問い合わせください

株式会社 日立情報通信エンジニアリング

〒220-6122

神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-3クイーンズタワーB 25F

<https://www.hitachi-ite.co.jp/lineup/engineering/service/cloudeng/index.html>

お問い合わせ

